

# 広報 おばま

《表紙》

江戸時代初期の小浜藩主、京極高次の妻「常高院」の発願によって建立された常高寺。山門へ続く階段の参道を小浜線が横切る、4ページに掲載したアニメのような世界が広がります。

(6月16日)

※以前は、階段を上り線路を渡って常高寺へ行っていました。現在は写真左手の道路を通り、線路をくぐらないと行くことができません(許可を得て撮影)

【特集】

～座談会～

目指すは観光交流人口「200万人！」

2007

7

案内板(図)



常高寺へ御参拝の方は  
左の小道より進んで下さい。  
(約1分)



常高寺

# 「200万人！」

市ではこれまで、食のまちづくりの推進など、観光交流人口の拡大に向けてさまざまな取り組みを行ってきました。こうした取り組みが実を結び、平成二十二年の達成を目標としていた観光交流人口百五十万人を、同十八年に達成することができました。

五月十九日、これを記念した講演会（武庫川女子大学の高田公理教授が講師）に引き続き、「観光交流人口二百万人を目指して」と題して、高田教授ら四人に語っていただきました。

## 観光は団体から小グループへ移行

**高田** まずは観光交流人口百五十万人達成おめでとうございます。これも市長さんのリーダーシップのもとで、市民の皆さんがそういう提案を受け止め、どうしたら観光客を増やせるかということを考えてそれぞれに努力された結果だと思います。

**上野** 平成十八年の観光交流人口が百五十万人を超

えました。実感がないということをよく聞きます。「百五十万人だとバスに換算して一日〇〇台だから来ていない」というふうに論議されますが、そうではありません。

観光交流という中で、「観光」という概念がずいぶん変わってきたのだと思います。少し前までは「温泉に入って宴会をする」「国立公園を散策する」「国立公園でしたが、現在は「コンベンション」「スポーツイベント」「趣味の会」あるいは「祭」「同窓会」など

いろんなジャンルの交流なんだと思います。食文化館は、見学だけで何万人にも来ていただいていますね。

**高田** 観光とは、「その土地に住んでいない人が外からやってきて、その町の良いところに気づいてくれて、その分のお金を落とししてくれる」。そういう産業だと思っています。

その中で、現代人が観光に行く目的は、例えば「そこで新しい生き方を発見したい」「今までなかったような暮らしの要素みたいな

ものを生活の中に取り入れたい」ということだと思っ

しかし、小浜で受けた光を自分の暮らしの中に生かしていくためには、団体で来たのでは具合が悪い。そこで小グループ化してきたのではないのでしょうか。

**藤原** 私どものホテルでは、ここところ日帰り客が増えています。年配の方が中心で、目的は「若狭の食」なんです。我々の器は小さくまだまだですが、昨年はホテル始まって以来、

## 小浜が世界に誇れるもの。それは「神仏習合」「自然・文化」「食」

最高数のお客さんに来ていただきました。これも、食のまちづくりを進めてくれた市長さんのおかげだと感謝しています。

**市長** 百五十万人という数字は県の統計数字です。「本当に来ているのか？」と言う人もいますが、お水送りや魚釣りに来られる方などはこれには入っていないんです。この統計数字が多いとか少ないとかは簡単に言えないと思います。

**上野** 観光交流人口が増えたきっかけは「若狭路博2003」ですね。嶺北の人たちも若狭を見直して、お祭りや小さい風物詩など

を見に来られるようになった。同時に、市長が標ぼうされている食のまちづくり、そして継続して行ってきたイベントがよかったです。思います。これからどうしていくかが課題ですね。

## 世界に誇れる三つの価値

**高田** 多くの人に来ていただくために、いくつか考

えなければならぬことがあります。世界と直結するような考

ステイバルを開くと言いだした。村に劇場を建てて夏に世界演劇祭を開いた。世界中の人がそこにやってくるようになったんですよ。

冬はそば祭り、春と秋はめい想道場。めい想はどこでもできますが、山の中でやると心と体が癒やされる。そんな富山県の山奥の村が、パリやニューヨークの演劇関係者の間で知られているんです。利賀村は今、世界の演劇の中心の一つになつていて聞きます。まちづくりで世界とつながってしまふんですね。

また、人口千九百人の岐阜県白川村は、一九九五年に世界遺産に指定されました。その瞬間に訪問客が百

万人を超えました。小浜でも同じことがいえます。わずか六年で観光交流人口が倍になった。市長さんは目標二百万人とおっしゃいますが、わたしは三百万人でも可能だと思えます。三百万人というと飛騨高山と同じ。小浜ももうひとがんばりで、有名な観光都市と同じになります。

**\*** 小浜に住んでいる皆さんは、小浜のよさ（価値）がわからないかもしれませんが、世界に誇れる三つの価値を持っているとわたしは思います。

一つは神仏習合。神様と仏様をいっしょにお奉りするお寺がきちんと残っている



うえの せいじ 上野 清治 さん

若狭おばま活性化イベント実行委員会会長。小浜商工会議所会頭。小浜今宮在住。



ふじわら きみお 藤原 喜巳男 さん

若狭おばま観光協会会長。小浜今宮在住。



むらかみ としお 村上 利夫

小浜市長。平成12年8月に就任し2期目。東勢在住。



たかだ まさとし 高田 公理 さん

武庫川女子大学生生活環境学部情報メディア学科教授。「情報文明社会の旅と人生 地球をフィールドとして」が現在の研究テーマ。滋賀県大津市在住。

目指すは観光交流人口  
「200万人！」

あるだけではダメ。

若い人が反応する仕掛けが必要



スタジオジブリが注目する明通寺

るのは日本でも数少ない。世界遺産になる可能性が十分あると思います。

都会で生活している人間は、何となく気持ちがイライラしたり不安を抱えたりしている。小浜にはそういう人々を楽しませる、癒やすことのできる自然や文化がある。これが二つ目。

三つ目は、朝廷に食物を献上した御食国であるということ。小浜には、その歴史と伝統を引き継ぐ食文化、それを支える食材があります。

**市長** まったくそのとおりですね。若狭おばまが提供できる観光資源は、高田先生の言われた三つに集約できます。

**上野** 神仏習合の聖地というキーワード、自然・環境・めい想など癒やしというキーワード、御食国の食。わたしたちが当たり前とと思っているこれらのことが、実は貴重なものである。住んでいる者にはその価値

あるだけではダメ。何か仕掛けを考えていく必要があると思います。若い人たちが反応する仕掛けを…。

**上野** 確かに、小浜に住んでいるとその価値がわからないですね。門をくぐると左右に末寺があり、正面に階段がある。階段を上ると線路があり、山門があり、ざん新な造りの常高寺がある。言われてみると、正にアニメの世界ですね。

若狭姫神社に、恐らく世界唯一と思われる「夢の神様」がいらっしゃいます。神社の中の小社に「夢彦神社」「夢姫神社」があるんです。夢をかなえてくれる神様なのか、夢をゆっくり見ましよう（めい想しましょう、心を休めなさい）という神様なのかはわかりませんが。

これも宮崎駿のアニメの世界ではないでしょうか。女子大生がこのことを知ったら来てくれそうですね。

**高田・藤原** それは初め

が見えにくいんですね。**現代人が旅、観光に求めるもの**

**高田** 一万人の女子学生が学ぶ女子大に勤めています。逆にならぬ彼女たちから学ぶことが多々あります。

小浜は「海のある奈良」。三年前に女子大生十人を小浜のまちに解き放ち、心に残った風景をビデオカメラで撮ってきてもらい、ゼミで学習しました。

**東京ディズニーリゾート、繁華街でのショッピング、コンサートなどが大好きな彼女たちですが、意外に反応はよかったですよ。写真やビデオを見せてもらいながら旅の実感を聞いたら、いろいろおもしろいことを言っていました。**

「海辺からぶらぶらと道を歩いていたら、高台にお寺が見えたので行ってみた。両側に懐かしい感じのする家が並んでいた。石の階段を上ってみると途中に線路がある。ちょうど電車

て聞きました。一度行ってみたいですね。

**藤原** 昔は、この地域で最も入り込み客が多かったのは夏でしたが、近年は十一月から二月の冬場が多いですね。逆に七月、九月が少ないです。小浜の観光のオンシーズンとオフシーズンが変わってきたことを実感しています。

**高田** 海水浴は日本の海ではなく、海外にも行くのでしょ。冬は小浜にカニやフグを食べに来るのが定着してきたんですね。団塊の世代にとって、長期滞在は一つのキーワードになってきています。これは旅館やホテルではどうしようもありませんが、外食はだいたい四泊以上になるといやになります。

そのため、小浜の「食」のファンになった人が、自炊で長期滞在できるような場所があるといいですね。そんなにたくさんの方が来るとは思いませんが、何十

がやってきて、わたしたちの前を通り過ぎていった。電車が過ぎるととたんに静かになり、目の前に常高寺が見えた。それがとてもシニール（超現実的）な感じでした」と。

現実を超えたような雰囲気。毎日見ていたら何も思わないでしようが、おしゃべりな品物ばかり売っているまちを歩く彼女たちにとっては超現実。

「ちよつとどこかに紛れ込んだようなまち。まるで宮崎駿のアニメ世界に迷い込んだようでした」と。

すると別の子が、「ずいぶん時代の経っているような三重の塔と本堂が杉木立の中にある。本堂の薬師如来、焦げ茶色の仏様に近くと「あつ、宮崎駿の世界だ」と思った。その後お坊さんの話を聞いたが、おじいちゃんの話を聞いているようになんだか懐かしかった。かわいかった」と明通寺の感想。大人には考えられないようなことを彼女た

人が来ると必ずインターネットに書きます。その口コミの影響が大きいんですね。

**上野** 商工会議所の視点で考えると、商店街の中に空き店舗があるが、商売はしなくても空き店舗を団塊世代の方に提供し、自炊や買い物、遊びなどで中期滞在していただいたらどうかなどと考えています。

**高田** 商店街の空いているところに住んでもらうというのは需要があると思いますよ。このようなことを体験した人は自慢したいのでブログに書きます。それで全国に広がっていくんですね。

究極なものを求めて

**上野** 小浜は祭りも盛んで、特に「放生祭」が注目されています。放生とは生き物に感謝し供養すること。わたしも祭礼当日には、生きた魚を逃がしてやりま

ちは感じてくれる。そこでスタジオジブリを調べてみると、実はスタッフが明通寺を訪れ、海幸彦、山幸彦の神話を素材にアニメの原点として研究しているんですね。ちゃんという形で小浜に注目しているんです。ご存じなのは小浜の人だけ。

また彼女たちは「静かな海の見える宿に泊まって、故郷に帰ったような気分にしてもらえるもてなしを受け、心身ともに癒やされた」「市内のあちこちにきれいなわき水があるのがうれしかった」とも言っていました。まちの中にコンビニの水よりおいしいわき水があるというの、また癒やされる。

しかし、あらためて小浜に行くかと尋ねると、「自費ではちよつと」と言う。でも、「例えば、あのお寺でジャズやロックのコンサートがあつて、入場料が三千円ぐらいなら友達誘って行くわ」と。

す。山車、獅子、大太鼓、神楽、みこしなどさまざまですが、根っこところは神仏習合であります。旧小浜町は二十四区あり、毎年十二区ずつが交替で出場し、祭り当日は非常に賑わいます。山車をはじめ、屋台は必ずしも大きくはありませんが、自慢できるのは囃子の多彩さ。数曲に及ぶ囃子は、全国的にも珍しいと思いますね。

**高田** おわら風の盆や郡上おどりなど、火がついたらものすごい。放生祭の入り込み客はどれくらいですか。宿泊もありますか。

**藤原** 三万人くらいだと思います。秋の連休時なので宿泊もあります。

**上野** 地域の観光を少し掘り下げてみると、小ぶりになってきたが究極なものを求めるようになってきたのでは。祭りや風物、例えば「弘前さくらまつり（今年には二百五十五万人が訪れ

目指すは観光交流人口  
「200万人！」

小浜は観光交流人口 300 万人達成  
の可能性、パワー、価値がある



座談会の様子

た」。あの時期に弘前の桜を見に行くとか、どここの祭りはけんか祭りですケールが大きいから見に行くとか。放生祭もそうなる可能性があるのではないでしょうか。

**高田** 今後三年間で八百万人が退職すると言われてる団塊の世代。退職金の使い道は、

- ①パソコン購入
- ②夫婦で国内旅行

という結果が出ています。国内旅行でどこへ行きたいかというところ、ゆったり気分が休まり、ふるさとのような雰囲気を持つところ。そこで普段の暮らしとは違う別世界の風物や食文化に浸り、心身ともに癒やされたい。みんなそう思ってるんです。

ふるさとであるかのような雰囲気です。旅行客を迎えてあげれば、小浜もさらに多くの方に来ていただけることと思います。

**藤原** 多くの方に来てい

料理を一つか二つ覚えて帰ろうというような学習プログラムがいくつでも組めるでしょう。

また、学生たちが小浜で自分たちの研究を深めることもできるでしょう。例えば、小浜の人がどんな食生活をしているのか体験しながら学ぶなど。

規模が小さいのでお金は落ちませんが、彼らがこのまちで学んだことを、例えばビデオの映像として発表したり、学生の中で口コミで伝えたりしていくことで、小浜の情報化というものが実現していくだろうと思います。

でも、一番いいのは世界遺産に認定されること。何もしなくてもメディアが全部情報を流してくれます。情報化が簡単に進みます。

**市長** 文化はお墨付きが必要だと思います。明通寺へ行った人はたいへん立派な寺だと思いが、それは一部の人でありまだ宣伝もされていらないので、世界遺産

ただくことはたいへんありがたいのですが、小浜には学会などを開催できる大規模なコンベンションホールや会議室がないので困っています。

**高田** お寺の本堂をお借りしてはどうですか。小浜には、すばらしいお寺がたくさんありますから。

**上野** それはいい発想ですね。ほかに、県立大の交流センターなどを利用すればよいのでは。

若狭おばまの情報化の鍵

**上野** 市長がよく言われることですが、「海には森が大切だ。森を大切にすることが川を大切にすること、ひいては若狭の海をよくすることだ」と。

そんな中、数年前から小浜水産高校の生徒が、海をきれいにするアマモの定植をしていてほかに、その活動を支援するアマモマーメイドプロジェクトと

になった、または目指しているということが変わってくるでしょう。

小浜の価値に自信を持つことが大事

**上野** 今日わたしが最も心に残ったことは、スタジオオジブリの話です。そのスタッフが明通寺を探索しているということはすばらしい。何とか小浜から、アニメデザイナーを志す子を育ててスタジオオジブリに入ってもらい、将来、明通寺界隈を舞台にした宮崎駿の作品が登場しアカデミー賞でもとれば、小浜はメッカになると思いますね。

**市長** 高田先生が言われたように、市民意識の高揚が大事ですね。

今は、高速道路を使えば大阪から小浜へ短時間で来ることが出来ます。海の見えるところで野菜や花を作りたい人がたくさんいると思うので、体験農園などに

いう市民団体もできた。このように、トータル的に若狭の海を大事にしていることが「食」につながっていくという運動を起こしつつあります。

**高田** そのような事業を進めていくと、マスコミなどが取り上げてくれる。広告宣伝費を使うぐらいなら、ジャーナリズム、マスコミが取り扱ってくれる事業をやることのほうがはるかに有効です。

その意味で、御食国の伝統に目を付けたのは小浜のすごいところだと思います。いくら御食国、御食国と言っても耳で聞いているだけではわからない。そこで、目で見るために食文化館を建てられた。そこを入り口にして、将来は海に抱かれた歴史と文化のまち、若狭おばまを作っていく。食文化館や食のサミットなどは大成功だと思います。

「食」を核としたいろいろな事業を積み重ねていく

も積極的に取り組んでみたらどうかと思っています。しかし、行政がやれやれと言ってもだめなんです。やってもらえるように仕向けることが必要です。

鉄道についても、京阪神に通勤・通学ができる、また観光客に気軽に来ていただくため、琵琶湖若狭湾快速鉄道を実現しなければなりません。十年後には完成するということを想定し、いろんな準備を進めておくことが必要です。

小浜城の復元も同じです。四百年前の小浜城の設計図が今もそのまま残っており、復元も十分可能です。

**高田** もし建設するのであれば、建てるプロセスそのものを見せる方法もありますよ。

この方法をとっているのが、スペインバルセロナのザグラダ・ファミリア教会。入場料と献金ですべて賄うため建築に二百年かかるそうです。その建築現場が観光名所になっている。

ことで、何か若狭おばまで起こっているらしいという雰囲気。マスコミの中で流れていく。いやなこと書かれるが、ブログで広がっていくことが大事です。

**上野** 最近では、小浜水産高校の生徒がエチゼンクラゲを原料にしたクッキーを考案しました。物産展などでよく売れたそうです。このような若い子が頑張っていることが、取材対象になり広告宣伝になるんですね。

**高田** それらを含め、若狭おばまの価値を世界に向けてアピールし、観光交流人口を増やす方法の一つが「若狭おばまの情報化」だと思います。

小浜にはスローフードあり、御食国でおいしいものあり、しかも食文化館があつて料理も習える。日帰りの観光バスツアーで、そういうカルチャーセンター小浜の食文化を学ぶとともに、おいしいものを食べて

小浜城も早く建てなくていいと思います。着手は早い方がいいが、完成するまでにはこれだけ苦労があるのだというプロセスを見せる中で、木造建築大工を育てることを考えてみてはいかがでしょうか。

\*

最後になりますが、このまちには「年間三百万人くらいの人々がやって来てほしいだけの可能性、その元になるだけのパワー、価値がある」ということをあらためて認識しました。それをどう外に向けて訴えていくのかということが大事なんです。それができれば、観光交流人口三百万はそれほど遠い夢ではありません。

市民の皆さんは、どうか「小浜にはそれだけの価値がある」という自信を持っていただきたいと思います。

**市長** 本日は貴重なご意見をいただきありがとうございます。